

活動報告

中央区の街づくりからさいたま市全体を見据えた将来計画まで、多くのテーマで行政に提案いたしました！

- 1 住みやすい街づくりの提案
- 2 予算委員会にて質問
- 3 9月本会議での私の提言が
実現に向け動き出します

自由民主党 **さいたま市議会議員**

井原ゆたか

井原ゆたか市政レポート vol.2 (発行)井原ゆたか事務所 さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル3F

ご挨拶

さいたま市議会議員として活動を始めさせていただき、まもなく1年が経とうとしております。本会議での一般質問、まちづくり委員会、予算委員会などで中央区の改善点や、さいたま市がさらに飛躍していけるような取り組みの提案をさせていただきました。今年はオリンピック開催年でもあり、4年後の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。いくつかの競技はさいたま市でも行われますので、オリンピックを一過性のイベントで終わらせるのではなく、これを機に街を成長させる必要があると考えております。環境面においても、他市に先じた政策を提案していきます。全世界に誇れるさいたま市、「住みやすい街」を目指して、全力で市政に取り組んで参ります。今後とも皆様のさらなるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市政報告会

昨年11月7日に産業文化センターにて、市政報告会を開催しました。100名を超える市民の皆様にご参加いただきまして、ありがとうございました。今後も半年に一回のペースで議会活動報告会をさせていただきます予定です。開催につきましては、ホームページで告知いたしますので、ご参加をお待ちしております。

住みやすい街づくりの提案

1 より便利な駐輪場を目指して ～自転車のまちづくりの推進～

主要駅周囲300mの範囲で十分な駐輪スペースを確保することを提案させていただきました。さいたま新都心駅周辺では自転車の収容台数は3,000台以上とされていますが、西口においては、けやき広場の下に465台しかありません。毎日自転車で駅



を使われる方々への住民サービスの向上はもとより、歩行者の安全確保、消防や救急等住民の安全確保の維持、街の美観促進のためにも駐輪場の適正配置が重要であることを提言させていただきました。この提言により、「駐輪場の適正配置」が平成28年度事業の検討事業となりました。

2 新大宮上尾道路の早期実現を目指して ～国へ要望書を提出～

新大宮上尾道路とは、首都高速与野JCTから圏央道桶川北本ICを結ぶ、高速道路の延伸事業です。1998年(旧与野市時代)に与野ICが開通して以来、20年弱もの間、滞っている計画です。与野IC開通で、17号バイパス与野以南の渋滞が解消されて、東京都心へのアクセスも短縮され交通の利便性は向上しましたが、与野以北に関しては依然として渋滞が慢性化している状態です。私は2月の委員会質問において早期実現を提言し、2月15日にさいたま市長と埼玉県知事の連名によって、再び国へと要望をあげていただきました。まずは、宮前南ICまでの3.8Km区間の暫定開通を目指して、今後も積極的に要望をあげて参ります。



予算委員会にて質問



1 広域連携事業について

昨年の北陸新幹線延伸開業と今年3月の北海道新幹線の開業を経て、大宮駅が新幹線の結節点となることを活かして、各新幹線沿線の主要都市の首長を集め、観光産業などの点で連携していく会議「東日本連携・創生フォーラム」という事業に関して質問いたしました。今年度の実績は、全ての主要都市の首長の出席がかなわなかったこともあり、具体的な経済効果の創出についての議論にはいたらなかったようです。来年度は反省を踏まえて、さいたま市と各沿線都市において双方のメリットとなるような具体的な方針を考えていくことを要望しました。自民党の地方創成の方針からも応援していきたい事業です。単なる鉄道の結節点としてのさいたま市に留まらず、真の東日本の玄関口としてのさいたま市になり経済波及効果を創出できる「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」の実現を始めとした具体的な施策を推進して参ります。

2 さいたま国際マラソンについて

2015年度大会に市議会議員で唯一出場した市民ランナーの立場からも、本事業について質問いたしました。2016年度の大会は、制限時時間を4時間から6時間へと延長し、競技種目もフルマラソン以外にも拡大を検討する中で、市の負担額が約1億5,000万円から2億8,000万円へと増額する予算案が提出されました。大阪マラソン、名古屋ウィメンズマラソンでは、各市の負担額は1億円程度で、協賛金の収入などによって大会運営ができていたとのことでした。さいたま市は協賛金が集まらなかったため、自治体負担を増やすということではなく、協賛金を集める努力をした上で経済波及効果にもつなげる大会運営をしていくべきだと提言いたしました。マラソン大会は市の活力にもなるイベントですが、費用もかかる事業でもあります。他市の運営も参考にして、さいたま市の誇れるイベントのひとつへと成長させていきたいです。



(本内容は朝日新聞/2016年2月27日朝刊にて取り上げられました)

9月本会議での私の提言が実現に向け動き出します

EVバス運行の提言が実現へ第一歩!

(9月本会議での井原ゆたか提案内容)

2020年の東京オリンピックの際には、さいたまスーパーアリーナでバスケットボールの試合が行われ、埼玉スタジアムではサッカーの試合が行われます。昨年9月本会議において、中央区と緑区の両会場の区間を電気バス(EVバス)を走行させることを提言させていただきました。(詳細は市政レポートvol.1)

さいたま市役所:「オリンピック・パラリンピック部を中心に、五輪レガシーとして活用できる交通網として、さいたま新都心～浦和美園間に*BRTの導入を検討する」ことを表明

※BRT(Bus Rapid Transit)はバス高速輸送システムのこと。専用の道路を走行し、渋滞知らずで高い定時運行性と高速性を備えるバス交通システム。地下鉄やLRTに比べて整備費用が安く、短期間での導入が可能。

BRTが本区間に導入されれば、浦和美園と地元さいたま新都心間の交通利便性が飛躍的に向上することで、オリンピック開催による経済効果を地元中央区へ誘導することが出来ます。環境配慮の新交通システムを導入している都市として、さいたま市のイメージを世界に発信できるメリットもあります。



井原ゆたか プロフィール

昭和58年1月13日さいたま市生まれ 33歳
東京大学理学部天文学科 卒業
東京大学大学院理学系研究科 博士課程修了

平成22年 東芝ソリューション株式会社 入社
平成25年 トヨタ自動車株式会社 入社(出向)
平成27年 さいたま市議会議員 当選

市政に関するご意見、ご要望などお待ちしております。



井原ゆたか事務所

〒338-0002
さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル3F
TEL 050-3418-7058 FAX 050-3588-4018
Email:contact@yutakaihara.jp



井原ゆたか
公式HP

<http://www.yutakaihara.jp>